慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	日系企業中国現地法人における人材マネジメント：現地高度人材の確保について
Sub Title	
Author	胡, 嘉豪(Hu, Jiahao) 大藪, 毅(Ōyabu, Takeshi)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2022
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2022年度経営学 第3973号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002022-3973

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（　　2022　年度）

論文題名

日系企業中国現地法人における人材マネジメント

―現地高度人材の確保について―

主　査	大藪　　毅
副　査	大林　厚臣
副　査	林　洋一郎
副　査	

氏　名	胡　嘉豪

論 文 要 旨

所属ゼミ	大藪ゼミ	氏名	胡　嘉豪

（論文題名）

日系企業中国現地法人における人材マネジメント
―現地高度人材の確保について―

（内容の要旨）

本研究は、日系企業との親和性が高い現地採用の高度人材に着眼し、彼らが日系企業現地法人で働く実態について明らかにするとともに、彼らが思う日系企業現地法人の利点と欠点を踏まえた上で、転職した要因または転職の意欲がある要因について考察したものである。

日系企業中国法人は従来から人材面において課題を抱えつづけてきた。離職率が高いことはその中の一つである。ただし、筆者の実体験と筆者周囲から観察したものにより、本来転職の意欲が低いはずの高度人材も日系企業現地法人を敬遠するようになり、または転職の意欲が高まってきた。彼らの共通点は、一流大学の日本語学科出身で、日本語検定最高レベルであるN1に合格している人物であり、日本の言葉や各種慣習への理解が深く、いわゆる日系企業との親和性が高い高度人材である。（本研究では「高度人材」と称する。）

このような日中双方な慣習と言葉を理解している高度人材は、現地業務展開において中核としての役割を果たしており、将来の現地管理職の源泉でもある。彼らを確保することにより、日系企業現地法人の成長に有利だと言えるだろう。

従来問題として指摘された日系企業中国現地法人の給与・昇進の問題を踏まえた上で、本研究では高度人材へのインタビューを行い、実態と原因をさらに深掘りしていく。最後に、筆者の考察でこの問題についての提案をしたい。